

<白金標準、40 日の日柄変化日で 4500 円に向け・・・>



(出所：オアシス)

PGMのパラジウムがNYマーカントイル取引所でショートカバーが入り、一夜にして70ドルを超える反発を見せている。特にパラジウムは自動車触媒が総需要の80%を占め、中国の株価の下落や中国経済に対する懸念を受け、5年ぶりに白金価格を下回る値動きを見せていた。また中国経済の低迷を受け、PGM価格である白金価格も中国需要低迷の影響を受けNY市場で900ドルを割り込んだが875ドルで下げ渋りを見せている。特に世界のプラチナ生産の7割を占める南アフリカでは、鉱山への電力制限が実施されるステージ4を上回るステージ6の負荷制限を行うなど今年も電力不足に伴う鉱山稼働率は低下する動きを示している。またNYマーカントイル取引所の指定倉庫のプラチナ在庫は6トンまで低下し、しかし取組高は90000枚を超えるなど900ドルを割り込み、CFTCの建玉明細からも売り込みが示されるなど、パラジウムと同様に売られ過ぎからショートカバーが入ると950ドルを試す値動きに結び付く可能性は高まると思える。そのため白金標準先物は4300円を下回る事無く4400円を回復する値動きに繋がると見え、強気スタンスを維持するのが妥当と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルも切り上げ、RCIでも短期が上昇し、長期は下げ渋るなど強気のサインをMACDとRCIで示されており、4399円を超える可能性は強まると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,500,000 円(2024 年 2 月 19 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2024 年 2 月 19 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>